

編集方針

本報告書は、大和証券グループの持続可能な社会構築に向けた活動を、わかりやすく開示すること、および現状と課題を自己評価することを目的に2002年度から継続的に発行しています。

『CSR報告書2011』では、お金はその用途によって社会のさまざまな課題を解決するための鍵となり得ることを多くのステークホルダーの皆様が知っていただきたいとの思いから、社会的責任投資 (Socially Responsible Investment/SRI) をテーマに編集しています。

地球温暖化、貧困をはじめとする社会が抱える課題の解決のため、持続可能な社会をつくる方向にお金が出ていくよう、報告書を読んだステークホルダーの皆様が、気づき、考え、行動を起こすための契機となることが、本報告書の重要な目的のひとつです。

また、特にお伝えしたいことは冊子で、GRI*のサステナビリティ レポートガイドラインを踏まえた網羅的な情報開示はwebサイトにて説明責任を果たすことで、読みやすく、誠実な開示に努めています。

* GRI(Global Reporting Initiative):持続可能性報告に関する世界共通のガイドラインの立案、普及を目的とする団体

本書の対象範囲など

対象読者:

主にお客様、株主・投資家、社員をはじめ、取引先、政府、NPO/NGO (非営利組織)、大和証券グループの属する地域社会、教育機関、社員の家族など、大和証券グループの幅広いステークホルダーの方々です。

報告対象範囲:

原則として当社グループ主要会社 (P29ご参照)。ただし全項目についてそれら主要会社すべての情報を網羅しているわけではなく、各社の規模や事業内容などに応じて記載しています。数値データには、それぞれの対象範囲を明記しています。

報告対象期間:

2010年度 (2010年4月~2011年3月)。一部には、2009年度以前や、2011年度に予定されている活動情報も含まれています。

発行時期: 2011年6月

(前回発行: 2010年6月、次回発行予定: 2012年6月)

お問い合わせ先 株式会社大和証券グループ本社 広報部 CSR課
電話番号 03-5555-1111 (代表)
e-メールアドレス daiwacsr@dsgi.daiwa.co.jp
URL <http://www.daiwa-grp.jp/csr/>

CSR報告書2011 特集編 (冊子)

目次

| | |
|--|----|
| トップメッセージ | 1 |
| 編集方針・目次 | 3 |
| 大和証券グループ企業理念とCSR重要課題 | 4 |
| 対談: 藤沢久美氏×鈴木茂晴 金融の力で世界の課題に挑む | 5 |
| SRI特集: 金融の果たすべき役割とは | |
| ■あなたのお金でできることを考えてみませんか? | 9 |
| ■社会的責任投資 (Socially Responsible Investment/SRI) って何? | 11 |
| ■大和証券グループの 社会的責任投資 (SRI) への取り組み | 12 |
| ■商品開発・販売の現場からSRIに取り組む | 13 |

| | |
|---------------------------------|----|
| ■金融機関の社会的責任を果たすために | 15 |
| ■社員座談会: SRIを普及させるためにできること | 17 |
| お金とのかかわり方を考えよう | 21 |
| 社員が「働きがい」を感じる職場をつくる | 23 |
| 東日本大震災への対応 | 24 |
| コミュニケーションでもっと広がるCSR | 25 |
| CSR課題・実績と目標 | 27 |
| 大和証券グループの概要 | 29 |
| 『CSR報告書2011』について | 30 |



より詳しい情報は全編としてwebサイトに掲載しています。詳しくはP30をご覧ください。

<http://www.daiwa-grp.jp/csr/report/2011/>